

スポットライト

計量器製造の第一人者

江州計器株式会社社長

津川 君 繁氏 (81歳)



おもはえば 竟にひとつの道とほく

おぼつかなくも 踏みふみて来し

この歌は計量功労者として 知事表彰を受けた日の感慨を詠まれた歌で、創業二十五周年の今日も思いは同じであると述べられている。

突然の申し出にも心好く応じていただき、江州計器工業株式会社社長の沿革並びに氏の経歴等についてお話いただきました。

氏は明治三十九年十月九日 徳島県板野郡松茂町でお生まれになり、やがて満八十一才を迎えられます。

氏は出生地の尋常高等小学校を御卒業後、徳島銀行の頭取の御子息(弁護士)の書生となり、勤めの傍非常な勉強をされて、専検に合格されたとのこと。

昭和十六年、前述の弁護士さんの紹介で、昭和町にあった「昭和度器」に勤務されるようになりました。

州計器工業株式会社」を創立されました。

事務所 膳所本町七五 工場 現在の「金波」近くの本多家の米蔵を改造

従業員 二十余名 以来、あらゆる長さ計を造られ、同業との競争の中で計量法の改正、製造方法の進歩、社会情勢の変動を乗り越えてこられました。

昭和三十五年一月四日 大津市秋葉台九一八に新築された新工場で操業を開始され、飛躍の第一歩を踏み出されたが「世界一の縮尺メーター」になり、「創立十五周年記念日の談」との氏のあ

短歌、俳句をよくされ、短歌では「中部短歌の会」同人、俳句では「木の実句会」の会員です。

業界発展に寄与されたこと で数多くの表彰を受けられていますが主なものは

- 知事表彰 昭和四十五年
通産大臣表彰 昭和四十九年
科学技術庁長官表彰 昭和五十六年十月七日
勲五等瑞宝章 昭和五十八年四月二十九日

大津市中庄二一―二六に御夫人、二女(大阪音大の音楽の教師)の御三人でお住まいです。

ふるさとのために

第六回 全国都道府県対抗女子駅伝 快走湖国の乙女たち

一月十七日、都大路で繰り広げられた第六回全国都道府県対抗女子駅伝で、滋賀チームは過去最高の好成績を残しました。

寺沢さんが陸上部の門をたたいたのが甲賀郡の水口中学校一年のとき、中学女子の中心は過去最高の好成績を樹て、二年生の時には早くも第三回全国女子駅伝に出場され、今回まで連続四回の出場です。

寺沢佳恵さんは膳所高等学校三年生、住所は大津市木下町(旧家中町)で学校の近くです。



寺沢 佳恵さん

ないようになり、七キロの減量に成功されたそうです。その結果が、減量後の大会では好成績を残されるようになったようです。

寺沢佳恵さんは膳所高等学校三年生、住所は大津市木下町(旧家中町)で学校の近くです。

資料を自治会長さんに依頼したので、自治会長さんが家庭を訪ねられたところ「これから練習に行くから明日にして」と言われ、翌日には届けていただけの誠実な人柄でもあります。



力走する寺沢さん(25番)

おめでとう赤ちゃん

Table with columns for birth date, name, and address. Includes entries for children of Mr. Takahashi and Mr. Kato.

Table with columns for birth date, name, and address. Includes entries for children of Mr. Tani and Mr. Yamamoto.

ご冥福をお祈りします

Table listing names and addresses of deceased individuals for whom prayers are being offered.

第一回 煌めき大津賞

活動部門で受賞

十八年前、隣接工場の排気ガス公害により付近一帯の樹木が枯死したので自治会で公害問題を取り上げ、一年半にわたる交渉を続けた結果円満に解決しました。

自治連合会表彰を受けた記念として二町自治会で「みどり育てる会」が発足しました。

膳所栗津駅前美化促進会(松田新右衛門代表 約百二十名)昭和五十年に結成され、地元企業とタイアップし、清掃活動や花づくりなどに取組み、美しい街づくりを続けて



心をなごませる花壇

人物往来 (1) 転出の部

六十二年度末人事異動により、それぞれの場に転、(退)任することになりました。膳所学区内在勤中は公私にわたり多大の御懇情を賜わりありがとうございました。

Table listing personnel changes, including names, positions, and departure dates.

第50回 膳所学区市民運動会

5月15日(日)膳所小グランド (雨天の場合は22日(日))

プログラムには、幼児の宝拾い、高齢者の福拾い、一般の自由参加種目(15)、各自治会対抗種目(8)等々と幅広く競技が計画されています。

なお、バザーは晴雨にかかわらず12時~13時に行います。

皆様大ぜい誘いあって御参加下さい。

昭和62年度 体育振興会 会計決算書 (昭和62年4月1日~昭和63年3月31日)

収入の部		支出の部	
科 目	金額(円)	科 目	金額(円)
前年度繰越金	0	会議費	12,323.00
自治会負担金	629,200.00	事業費(体振内事業)	1,741,254.00
運動会広告料	914,000.00	運動会費	709,306.00
大津市助成金	199,000.00	水泳教室費	883,928.00
水泳教室参加料	900,000.00	ブロック委員会費	124,020.00
スポーツ教室参加料	24,000.00	スポーツ教室費	24,000.00
理事研修参加料	168,000.00	その他事業費(共催、協賛事業)	426,840.00
学校開放補助金	50,000.00	ふれあいまつり分担金	20,000.00
保険料	68,000.00	市民体育大会	231,670.00
体力づくり推進協議会補助金	100,000.00	学区対抗野球	135,170.00
毎日マラソン自主警備料	37,500.00	新春びわこ健康マラソン	10,000.00
野球場大会出場市補助金	46,400.00	学区対抗駅伝競争	30,000.00
雑収入(お祝金)	52,000.00	クラブ助成金	170,000.00
		ソフトリーグ補助金	30,000.00
		広報費	3,000.00
		参加費および表彰費	43,000.00
		慶弔費	5,000.00
		各種団体加盟金	17,500.00
		保険料	68,000.00
		理事研修費	226,450.00
		事務局費	166,626.00
		派遣費	81,400.00
		毎日マラソン自主警備費	37,500.00
		備品費	20,550.00
		雑費	27,750.00
合 計	3,188,100.00	合 計	3,188,100.00

その後の 黒田 麴 廬

私の「黒田麴廬の業績と漂荒紀事」が新聞で紹介された日の昼前、女性の方から「今日の新聞に載った膳所藩の黒田は私の姑さんの里ではないでしょうか」との電話。私は「麴廬には梁太郎という男子がありまして……」と言いかけると「それは私の主人の祖父です。このような次第で麴廬には二人の孫娘がいてそのご子孫が何人もおられることが判明しました。後刻ご子孫の家を訪問して麴廬の遺品を拝見しました。注目すべきものは安政三年から明治二十五年までの三十七年間の日記です。半紙二つ折で一年毎に綴られています。ただ残念なことに戦争中紙不足のために一部使用されて欠けていて現存は二十五冊です。題名は「訳業日乗」となっていますが、翻訳のことよりも日常茶飯事の記録が多いです。例えば「杉浦へ行」「傘ヲ貸ル」「蘭人通

ル バターヒヤノ旗ヲ立てテ」「時計止ルコト際」とかです。これらは安政三年の日記から拾ったのですが、このように日米通商条約が結ばれたこの年に既に時計を日常使用していたハイカラぶりがうかがわれます。またこの日記には三十七年間毎日その日の天気、夜バラバラ、曇、雨、雪、暖、寒など。冬の日には「比良白シ」ともあります。比良山に雪が積っているとのこと。この日記で安政三年から三十七年間の湖南地方の毎日の天候がわかるわけ。これも書いてあります。これは膳所藩の「コマ」でしょうか。水干姿の神人、傘を持った供人二名、周囲には見物の男女、子ども、遠景には小川と農家。軽妙な筆使いで生き



きと描かれています。彼は起床すると直ぐに日記に日付けを書き、時に応じて出来事をメモしていたようです。重剛も「先生はいつも日記を机の上に拡げておかれて誰れでも見られるようにしておかれた」と回想録に書いています。この日記の最後、明治二十五年十二月十四日の個所は「十四」と書き、次の日の字は縦の棒を書いたところ

で終わっています。この瞬間彼は倒れたのでしょう。日記には数日前から食欲がないとか「心動ヒドシ」とか「ブラブラ病」のようだと書いています。また休業(塾)してしま

す。このように日記を見れば彼は十四日の朝急死したものと推測されます。今まで伝えられていた十四日の夜、失火で焼死したというのは誤りです。彼の長男梁太郎は明治十二年師範学校を卒業して教員となり、退職後は膳所神社前の市の支所南隣りで黒田代書事務所を開いていましたが昭和十六年十二月八日二十才で死去しました。その子の正元も十九年死去して黒田家は絶家となりました。

（平田守衛記）

次号に続く

新自治会長紹介

- 池の内東 石谷 富男
- 池の内北 水谷 和夫
- 池の内南 田中 和夫
- 湖城ヶ丘東 山崎 正博
- ネオコーポ湖城ヶ丘 安藤 秀雄
- 石神町 西村兼太郎
- 中山 敏夫
- 鈴木 信哉
- 小野 安正
- 村上 敏次
- 野呂 茂吉
- 北石神町 吉田 清
- 北昭和町 吉田 春男
- 新和 吉田 敏男
- 東網町 杉江繁次郎
- 木下町 加藤 真一
- 住吉町 西田将一郎
- 大竹町 小谷 幸男
- 家中町 床尾梅次郎
- 北大手町 中野信太郎
- 魚屋町 青山 光治
- 大津町 角井 清利
- 北相模町 矢部 太郎
- 南相模町 谷元 末男
- 上清水町 細井 久雄
- 下清水町 沢 潤治
- 大工町 居田 徹
- 坊主町 田中 繁彦
- 小姓町 久保 秀一
- 行啓町 馬杉 良雄
- 丸の内町 二橋 昭夫
- 上浜田町 飯田 敏夫
- 浜田町 飯田 勝一
- 本丸市営団地 余川 泰夫
- 本丸警察官舎 坂梨 公彦
- 膳所公園団地 石田 豊一
- 伊勢屋町 小野 安正
- 殿 町 森田 茂
- 桜馬場町 仲川半次郎
- 不動寺町 高山 西治
- 椿原町 宮城 義次
- 中津町 山口 隆三
- 瓦ヶ浜町 野添 弘蔵
- 杉浦一区 田中 賢一
- 杉浦二区 岡村 博正
- 杉浦三区 井上 博
- 杉浦四区 堀池 進
- 杉浦五区 堀池 昭次
- 御殿浜一区 宇野 三郎
- 御殿浜二区 鈴木 信哉
- 御殿浜三区 清水 滋
- 御殿浜四区 白井 四郎
- 別保一丁目一区 西村 良平
- 別保一丁目二区 野呂 茂吉
- 別保二丁目 村上 敏夫
- 別保三丁目一区 西村 庄也
- 別保三丁目二区 小野 羊三
- 別保三丁目三区 千田 俊一
- 晴嵐二丁目一区 武宮 新
- 晴嵐二丁目二区 武宮 新

新自治会長紹介

もより浅学非才の私、その任を全うできるか心もとな

今般、はからずも、膳所学区自治連合会会長という重責を担うことになりました。



井上 博さん

創立40周年にあたって

時代の流れ、社会情勢の変化は私たちにさまざまな問題を投げかけています。

創立四十周年を迎えるにあたって、その問題をどう受けとめ、どのように対処したらよいかを考えたいと思います。

そして、明るい家庭・潤いのある地域づくりに貢献する婦人会に成長したいと願っています。

膳所の婦人の皆さん!

あなたも、どうぞお仲間。手を結び、力を合わせて活躍しましょう。

四月十日〜さくらまつりに参加

四月二十二日〜乳がん検診

四月二十六日〜婦人会総会、講演「大人の後姿を見つめる子どもたち」

講師 小嶋乳幼児院院長 後藤節乃先生

今後の予定

- *施設見学*健康教室
- *園芸教室*歴史散歩
- *楽しいつどい などを計画しています。(具体的などはそのつど御案内いたします。)

編集委員を募る

「膳所市民ニュース」第十八号発行の運びとなりました。五十八年八月に膳所町・大津市合併五十周年記念特集号が発行されてから四カ年余の年月が過ぎました。

この間に諸団体の役員の変動も変化しました。

膳所会館の改築など外的条件も変化しました。

新年度を機に新しい編集委員さんを加え、充実した紙面を作りたいと思います。ふるっ

あとがき

十八号をお届けできるようになりました。

公民館事務所の移転、年度初めにあたり、原稿依頼が遅れがちで発行が案じられていました。しかし、幸いなことに以前に続いて積極的に御投稿下さる方があり、また、お知らせの欄(☆赤ちゃん、★ご冥福……)にどうした訳か、紙面の割振りに困り、期限を定めてしか掲載できないほど多数になりました。必ず次号に掲載します。

次号(八月一日号)発行の頃には各種団体の活動予定ならびに事業の実践も多くなることでしょう。

「膳所市民ニュース」をより発展する膳所をめざして膳所学区の皆さんの生活に少しでも役立つものにしたと考えます。一層の御支援をお願いいたします。

昭和62年度 膳所市民ニュース会計決算報告

収入		支出	
項目	金額	項目	金額
自治会負担金	484,200	印刷費	441,200
広告料	48,000	会議費	44,664
繰越金	89,057	食糧費	28,000
雑収入	630	事務費	13,630
		雑費	6,950
合 計	621,887	合 計	534,444

差引残高 87,443 円は63年度に繰越します。

御応募下さい 締切 五月三十一日 応募先 公民館 〇二二一七五三三